

# 「芸術文化による社会支援助成」活動報告会 第1回

## コロナ禍におけるオンラインの活動継続

アーツカウンシル東京では、障害者をはじめ、高齢者や子供、外国人といった、さまざまな人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動を支援する「芸術文化による社会支援助成」を、平成27（2015）年度に開始いたしました。さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動、社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動を支援してきました。

この度、「芸術文化による社会支援助成」活動報告会の第1回として、コロナ禍においてオンラインで活動を継続した、令和2年度助成対象の2つの団体にご登壇いただきます。前半の第1部では、多様な人との“共創表現”に取り組む特定非営利活動法人みんなのダンスフィールドの活動と、演劇を通じた精神保健福祉の普及啓発に取り組む特定非営利活動法人東京ソテリアの活動をご紹介します。また、後半の第2部では、参加者の皆さんも交えて、意見交換や課題を共有し、団体・個人間のネットワークの構築を目指します。



### ◆ 登壇団体 ◆

#### 特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド

登壇者：西 洋子、千葉 遥、水村 麻理恵

コミュニティを基盤に、誰もがそれぞれのからだで自由に創造し、生き生きとした新しい表現を共に創り合う活動を展開。表現による社会実践を通じて、共創社会の実現に寄与するファシリテータを育成。



採択事業：

- ・平成27年度「てあわせバトル・おどる・どるどる」
- ・平成28年度第2期「インクルーシブ・ダンスの上演をコアとする連続的な「共創」のアートプログラム開発」
- ・平成29年度第2期「新しいインクルーシブ・ダンス -ひらかれたアート交流による「共創」を目指して-」
- ・平成30年度第2期「『未来へのまなざし』ダンス&アーカイブ 一子どもたちはインクルーシブ・ダンスで対話する」
- ・令和2年度第1期「ワーク・イン・プログレス『共創表現ファシリテーションに挑む』-研究・創作・社会実践は循環してすむ-」

#### 特定非営利活動法人東京ソテリア

登壇者：塚本 さやか、長谷川 志帆、松本 直之

精神障害を持って地域の中で暮らせる社会を目指し、各種障害福祉サービス事業を運営している。精神障害についての普及啓発事業にも力を入れており、日伊共同就労支援プロジェクト等の様々な事業をイタリア エミリア・ロマーニャ州地域保健連合機構ボローニャ精神保健-依存症局と協働し、活動を継続している。



採択事業：

- ・平成31年度第2期「アルテ・エ・サルデー「マラーノ/サド」～日伊精神障害者共同演劇プロジェクト～」
- ・令和2年度第2期「アルテ・エ・サルデー「マラーノ/サド」～日伊精神障害者共同演劇プロジェクト～」

**2022年2月21日（月） 18:30～21:00**

**場所：オンライン（Zoom）**

※ZoomのURLは参加者にメールにてお送りいたします。

定員：40名（事前申込制・応募者多数の場合は抽選）

ファシリテーター：小川 智紀

グラフィックファシリテーター：清水 淳子

手話通訳・UDトークによる情報保障あり

#### 申込方法

QRコードより必要情報をご記入の上お申込みください。

<https://forms.office.com/r/s27zUHMuzQ>

申込締切：2月14日（月）12:00

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・音声・動画の収録を行います。記録映像のアーカイブ公開はありません。

※本報告会後レポート記事等をアーツカウンシル東京のウェブサイト等で公開します。

※内容が変更になる場合があります。予めご了承ください。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

問合せ：act\_ss@syuzgen.com（「芸術文化による社会支援助成」活動報告会 運営担当）

